



**SORAK Development Agency**  
**Registered NGO: No:8726**

UEB Zone ,Church Road –Mullago;P.o Box, 71883 Clock Tower –Kampala;Tel:+256 703515225  
Mubende Office: Lusairia T/C, 16km from Mubende Town along Mubende –Fort portal Road



NPO法人グローバルブリッジネットワーク  
**Global Bridge Network**

## プロジェクト名：生理で学校に行けなくなる女子学生の教育環境改善事業（ウガンダ共和国）

### 活動 2. 生徒による「月経衛生クラブ」の設立

（活動 2-1 対象校 3 校にて、生徒による「月経衛生クラブ」を設立し、月経時の衛生管理について指導できるトレーナーの育成）

※本レポートでは「Menstrual Hygiene Management (MHM)」を「月経時の衛生管理」と表記する。また、MHM Club のことを「月経衛生クラブ」と表記する。「月経衛生クラブ」とは、月経時の衛生管理・性教育・ジェンダー啓発活動を生徒たち自身で行うクラブ活動のことである。

### 活動日と実施場所:

2018 年 3 月 25 日 聖ジョセフ・チバリング初等学校（チバリング副郡）

2018 年 3 月 26 日 ルワウナ初等学校（チバリング副郡）

2018 年 3 月 27 日 プレシャス・チャイルド・ラーニング・センター(PCLC)（ナビンゴラ副郡）

## プロジェクトの概要と背景

2017 年に「ウガンダ共和国で生理で学校に行けなくなる女の子の教育環境改善」というパイロットプロジェクトが現地 NGO、SORAK により実施された。その後、このプロジェクトに参加した生徒や教員より、今後の活動に対する意見や提案が出され、その中には、生徒による「月経衛生クラブ」を設立することが差し迫って必要であるという意見があった。これまでのプロジェクト活動を持続していく意味でも、また、生徒たちが「これは自分たちの活動である」という主体性を持つためにも、「月経衛生クラブ」を設立することは重要と考えられた。

このような状況を受けて、SORAK は、LUSH Japan から助成を得た Global Bridge Network (GBN) と協働し、対象校 3 校（聖ジョセフ・チバリング初等学校、ルワウナ初等学校、プレシャス・チャイルド・ラーニング・センター(PCLC)）それぞれにおいて、「月経衛生クラブ」を設立することを決定した。「月経衛生クラブ」では、SORAK の職員や男性および女性の主任教員の指導のもと、月経時の衛生管理、ジェンダーの啓発活動、そして性教育というテーマについて、生徒どうしで教え合う活動が行われる。各対象校から 8 名の女子生徒と 4 名の男子生徒（3 校あわせて 24 名の女子生徒と 12 名の男子生徒）が選ばれ、合計 36 名の生徒を「月経衛生クラブ」の設立メンバーとして選抜した。

学校にて「月経衛生クラブ」を設立する主な目的は、生徒、学校の地域関係者、保護者の主体性を形成することで活動が持続されることであり、プロジェクト終了後も「月経衛生クラブ」は存続する予定である。このような体制を築くことで、活動で知識を得た「月経衛生クラブ」の生徒たちは、自分たちの仲間に対して、布ナプキンの作り方をはじめ、月経衛生について教え続けられると考えている。

## 選考基準と選考方法

各対象校では、男性と女性教員らの助言を得て、「月経衛生クラブ」のメンバーとなる女子生徒 8 名と男子生徒 4 名が選ばれた。選考は以下のように行われた。

1. 活動 1.1 で実施した「生徒から生徒へ行う月経時の衛生管理トレーニング」を受講した生徒 18 名（女子 12 名、男子 6 名）が集められた。
2. 1 校につき 12 名（女子 8 名、男子 4 名）ずつ選抜するため、男性と女性の主任教員の協力を得て、月経を迎える年齢（思春期）でかつ積極的な生徒たちが集められた。
3. SORAK プログラムスタッフは、「月経衛生クラブ」を設立する意義について、またクラブのメンバーが取り組む活動について、生徒たちに詳細な説明を行った。
4. 生徒たちは、クラブを運営する代表者として、女子生徒 8 名と男子生徒 4 名を推薦する機会が与えられた。立候補者については、自分の思いや関心について話す機会が与えられた。
5. 対象校 3 校では、それぞれ候補者がそろった段階で、男性と女性の主任教員の指導のもと、参加者は各候補者を承認するかどうかについて挙手で意思表示をした。
6. 候補者の選考が終了すると、選ばれた生徒は、仲間の生徒と話し、自分を選んでくれたことに対する感謝の気持ちを伝える時間が 4 分与えられた。また SORAK プログラムスタッフに対して、自分の役割を果たすことと新しく設立されたクラブを支援していくことを約束した。
7. 自分の意見をはっきり表現できない生徒については、恥ずかしがらずに自由に自己表現できる生徒と交代することになった。

## 選考結果

活動 1.1 でトレーニングを受講した生徒のうち 80%が月経衛生クラブのメンバーとして選ばれた。他の 20%はコミュニケーション力・自己表現力の不足、または本人の意思により選抜から外れた。一方、主任教員の協力を得て、より積極的で熱心な生徒が特定され、他の生徒の前で立候補する機会を与えられた。活動 1.1 のトレーニングを受講していないが、コミュニケーション力、能力、積極性があることで選抜された。



「月経衛生クラブ」にふさわしい、行動力のある者の名前をあげる PCLC の生徒たち



選ばれた「月経衛生クラブ」のメンバーとグループ写真を撮る SORAK のプログラムスタッフ



チバリンガの生徒に対して、クラブの役割と責任について説明する SORAK のプログラムスタッフ



「月経衛生クラブ」にぜひ入って欲しいと思う生徒の名前を発表する生徒たち



SORAK のプログラムスタッフとグループ写真の撮影をするチバリンガの「月経衛生クラブ」



「月経衛生クラブ」の代表者選びを行うルワウナ初等学校の生徒たち



ルワウナで新しく選ばれたメンバーたちは、月経、性教育、そして性と生殖に関わる健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス・ライツ）に関わる問題を改善することを誓った。

## 対象校3校の「月経衛生クラブ」の責任

「月経衛生クラブ」のメンバーには、学校の月経衛生に関わる活動をはじめ、多くの役割がある。クラブ委員は、男性と女性の主任教員の指導のもと、また SORAK やパートナー団体といった外部からの協力のもと、以下のような活動を行うこととなる。

1. 月経時の衛生管理の実施：月経に関わる問題に対する意識を高める活動や、他の生徒の相談にのるカウンセリング、そして布ナプキン作成の指導をすることが含まれる。
2. ジェンダー、性教育、そして性と生殖に関わる健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス・ライツ）についての研修の実施。これは、子ども同士で教え合う手法（Child-Child アプローチ）を用いる。
3. 自分たちが作った布ナプキンの販売先を地域の市場や学校内で探す。

## クラブから寄せられた意見と提案

新しく設立された「月経衛生クラブ」を適切・円滑に運営していくために、対象校3校のメンバーから以下のような意見と提案が出された。これらは大変重要な点ではあるが、実現するための予算も必要である。

1. 対象校3校の「月経衛生クラブ」ともに、学校の制服とは別に、メンバーが着用するユニフォームを希望した。これは、ほかの生徒たちと自分たちを区別しやすくするだけでなく、学校のために行っている活動に対するメンバーのモチベーションを上げることに効果的である。
2. PCLC の「月経衛生クラブ」は、学校の敷地内に看板を設置することを提案した。この看板に月経や性教育、早婚や婚前交渉に伴う危険性や HIV 感染のリスクに関するメッセージを提示できるようなポスターやチラシ、シール等を提供して欲しいとのことであった。
3. ルワウナ初等学校の「月経衛生クラブ」は、生徒が主体的に布ナプキン作りの材料を管理できるように、布ナプキン作りに必要な材料は直接クラブまで届けられるべきではないかと提案した。もちろん、学校管理職と教員側との連携することは必須である。
4. チバリングの「月経衛生クラブ」のメンバーは、活動が校内で認識されるように、説明付きの額入りのグループ写真を校長室に飾ってもらいたい、と要望した。本件については、SORAK が、校長室の関係者をはじめ管理職側と調整する。
5. PCLC の「月経衛生クラブ」は、メンバーが次の代に交代しても長く継続的に活動できるように指導してくれるメンター（助言者）が居て欲しいと希望した。

**Annex : Names of the selected participants per school**

<b>PCLC-MHM Club</b>				<b>ST. Joseph Kibalinga P/S- MHM Club</b>			
	<b>NAME</b>	<b>SEX</b>	<b>CLASS</b>		<b>NAME</b>	<b>SEX</b>	<b>CLASS</b>
1	Nakabuusu Swabula	F	P.6	1	Nagitta Noelina	F	P.6
2	Namwanje Justine	F	P.5	2	Nakirijja Angellah	F	P.6
3	Kirabo Prossy	F	P.6	3	Tusemerirwe Tayebwa	F	P.6
4	Twizera Rebecca	F	P.6	4	Tushabomwe Stidia	F	P.6
5	Nalweyiso Fatumah	F	P.5	5	Twesimire Agnes	F	P.5
6	Nabattu Rosemary	F	P.6	6	Tushabomwe Dimintilia	F	P.6
7	Atuhera Shania	F	P.6	7	Ahumuza Grecius	F	P.6
8	Kisakyamaria Paricia	F	P.3	8	Namutebi Bennah	F	P.6
9	Ssenyondo Marvin	M	P.6	9	Kyambadde Godfrey	M	P.6
10	Nyironkuru Destiny	M	P.5	10	Ssempafu Joseph	M	P.6
11	Kaliisa Jamiru	M	P.5	11	Tampaka Eric	M	P.6
12	Mugenyi David	M	P.4	12	Kimbowa Alex	M	P.6

**Lwawuna-MHM Club**

	<b>NAME</b>	<b>SEX</b>	<b>CLASS</b>		<b>NAME</b>	<b>SEX</b>	<b>CLASS</b>
1.	Kugonza Joseline	F	P.6	8.	Kabachwezi Afisa	F	P.6
2.	Kembabazi Sarah	F	P.6	9.	Nakaabya Sudaisi	M	P.6
3.	Nabuuma Gloria	F	P.6	10.	Mujuni Sepriano	M	P.6
4.	Nabukeera Doreen	F	P.6	11.	Muwanguuzi Joseph	M	P.5
5.	Omuziga Emma	F	P.5	12.	Namwama Kasim	M	P.5
6.	Namutima Sulaina	F	P.5				
7.	Kalungi Irene	F	P.5				